

講義名	卒業研究
講義コード	14061
担当教員	大島 秀武
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
備考	

ゼミ
----

学部
----

人間社会学部
--------

学科
----

人間健康学科
--------

演習名
-----

健康体力学
-------

概要説明
------

「運動を科学する」をテーマに「運動・スポーツが人々の健康づくりにどのように貢献できるのか」について考えていきます。「スポーツ」としても、「競技スポーツ」、「健康スポーツ」、「生涯スポーツ」、「レクリエーションスポーツ」、など、いろんなスポーツがあります。また、「健康」という言葉も単に病気でないというだけでなく、身体的側面や精神的側面などあらゆる捉え方が必要です。子どもからアスリート、高齢者まで、一人ひとりの目的に応じた運動・スポーツの実践・指導・評価方法について研究していきます。

学位
----

博士（学術）
--------

教員よりの要望
---------

運動することが好きな人、スポーツを観ることが好きな人、自分の疑問・興味を深く追及してみませんか？「腹筋運動をするとお腹はスリムになるの？」、「運動は朝にするのと夜にするのとどちらがいいの？」、「一つひとつの素朴な疑問を深く分析し、解決する力を身につけることが必要です。ゼミを通じて身体と頭を使い、自分をアピールできる人になってほしいです。

教員英字氏名
--------

Yoshitake Oshima
------------------

研究室
-----

5 4 3 2 研究室
-------------

最終学歴
------

大阪市立大学大学院 後期博士課程修了
--------------------

主な研究活動・社会活動・研究業績
------------------

現在の研究テーマ  
肥満者の身体組成評価および減量方法に関する研究  
日常生活の身体活動量測定に関する研究

<最近の論文発表>  
加速度計で求めた「健康づくりのための運動基準2006」における身体活動の目標値（23メッツ・時/週）に相当する歩数 体力科学 No.61, pp193-199, 2012. Effect of weight-loss program using self-weighing twice a day and feedback in overweight and obese subject: A randomized controlled trial. Obesity Research & Clinical Practice

<最近の学会発表>  
家庭での体重測定回数の違いが減量を促進するか？ - ランダム化比較試験 - 日本肥満学会 第30回大会  
健康づくりのための身体活動量の基準値（23エクササイズ）と歩数の関係 日本体力医学会 第65回大会  
加速度計を用いた身体活動量評価の信頼性・妥当性 日本体力医学会 第65回大会

主な卒業論文のタイトル
-------------

野球のポジション別に見た体格・体力特徴の違い  
バットスイングのスピードと部位別筋肉量との関係性  
階段歩行による筋力トレーニング効果  
自主活動グループ所属高齢者の体力特徴  
高齢者のステップエクササイズにおける各パターン進行速度の特徴  
リュックサックを背負った坂道歩行時の生体負担に関する研究  
子どもの基礎体力およびコーディネーション体力の性差  
指タッピングによるリズム特性について

趣味・特技
-------

所属
----

人間社会学部 人間健康学科
---------------

所属学会
------

日本体力医学会， 日本体育学会， 日本運動生理学会， 日本肥満学会， 日本公衆衛生学会， アメリカスポーツ医学会
--

専門分野
------

運動生理学， 運動処方
-------------

選考方法
------

演習申込書および面接によって選考します。
----------------------

担当科目
------

健康生理学， 健康運動科学理論A・B，健康運動科学実習A・B，運動指導技術演習B， 野外活動演習， 研究演習， 研究演習， 卒業研究
--

備考
----

評価方法
------

出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性などから評価します。
---